

溺れ！
ていく

ダメな私は
完璧なあの
人に

千氏夜

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



職場には頼りに
なる上司もいて
充実していた



別の部署に
異動が決まって
次もうまくやれる
自信もあった



はい！

千堂さん
向こうでも
頑張ってね



大学を卒業して
希望通りの会社に
就職出来た私は――

人生がうまく
いったと思う



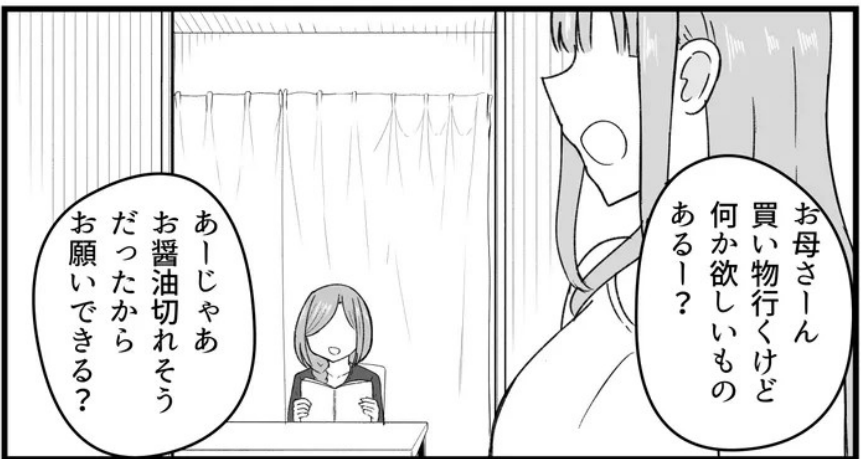
けど新しい場所は
私には厳しくて

いつの間にか
息ができなくて
それで――



千堂佳穂(27)
職業：無職

はあ...また
アニメ見てたら
一日が終わってた



あーじゃあ
お醤油切れそう
だったから
お願いできる?

お母さん
買い物行くけど
何か欲しいもの
あるー?



あっ...やば
今日薬局の
安い日だった



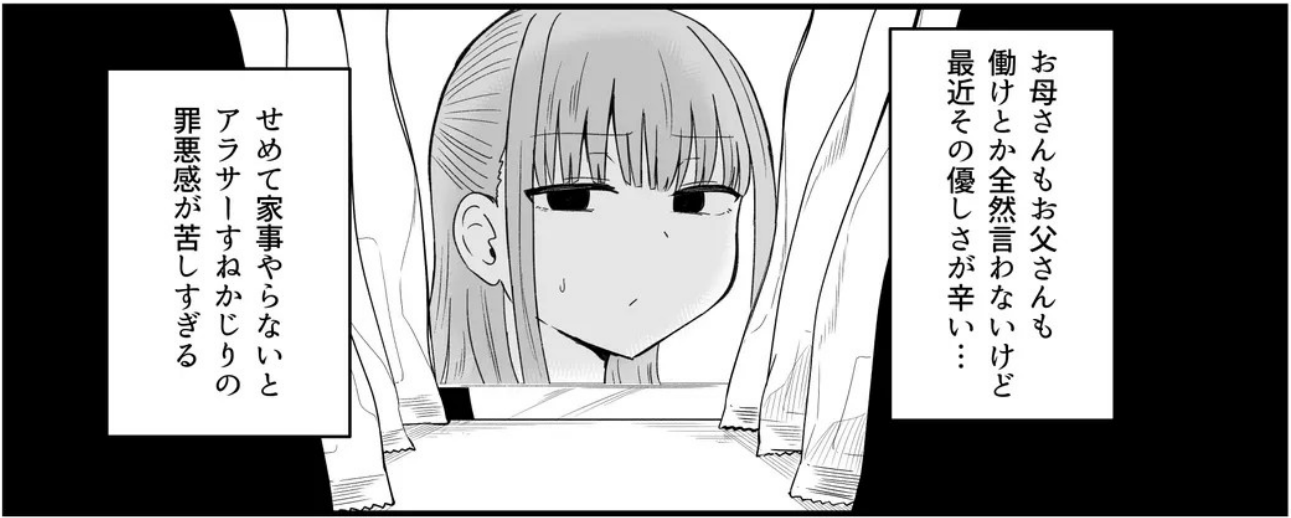
はい

バタバタ



仕事をやめて
もう2年か：

早く仕事見つけないと
とは思ってるけど：
なかなかなあ：



お母さんもお父さんも
働けとか全然言わないけど
最近その優しさが辛い：

せめて家事やらないと
アラサーすねかじりの
罪悪感が苦しすぎる



こんな私なんか
誰も好きになんて：

いやいや仕事も
出来ないのに
誰かと結婚とか
絶対無理でしょ！

大学の友達はもう
だいたい結婚ちゃったし：
就活が無理ならせめて
婚活しなきゃかも：





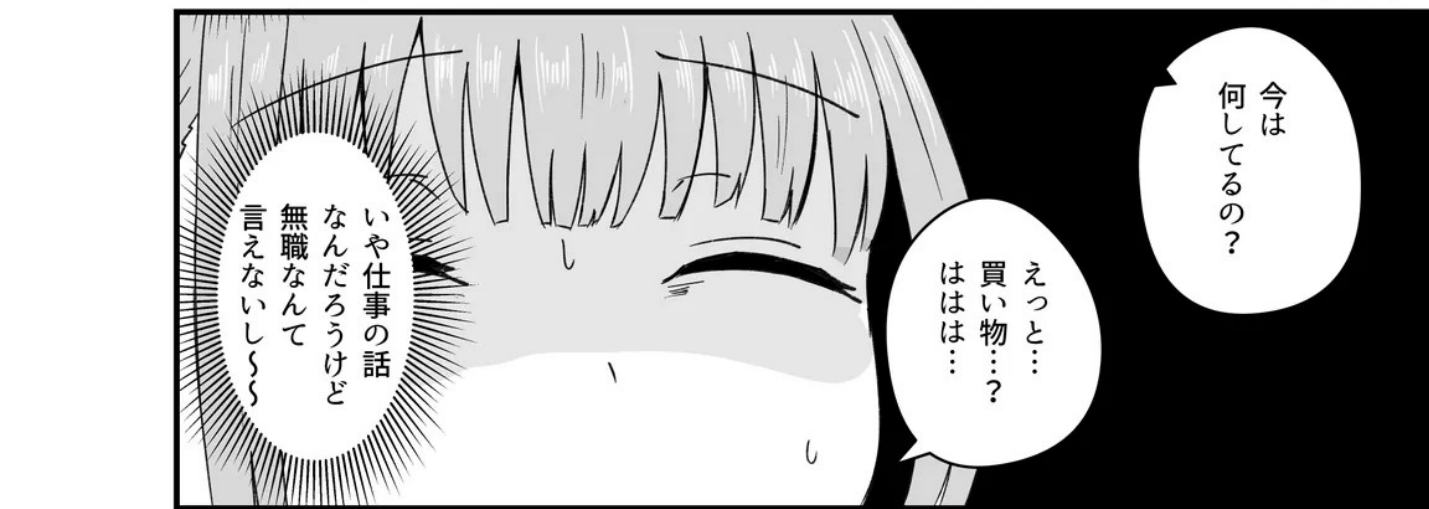


元気そうで良かった

体調不良で仕事辞めたって聞いてたから

あはは…

さい…あく…
前の職場の上司と
会うなんて…



今は何してるの？

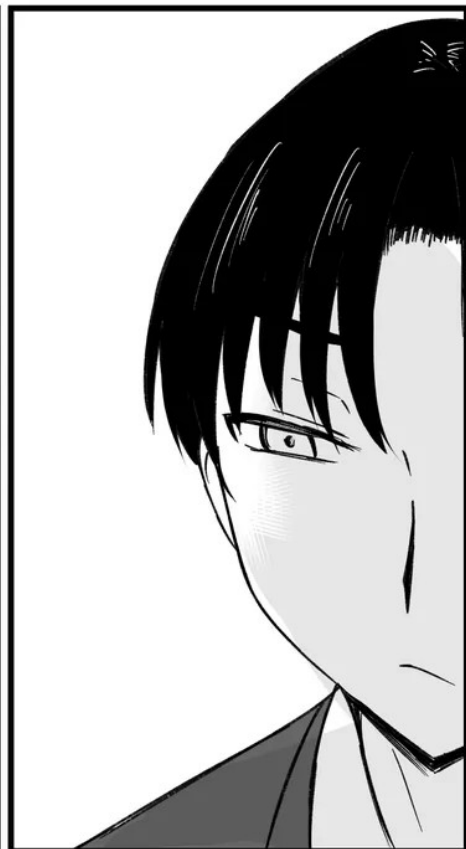
えっと…
買い物…？
ははは…

いや仕事の話
なんだろうけど
無職なんて
言えないし…



あのさ…良かったら別の場所でお話させてくれない？

え…





なんとなく
逃げられなくて
ついて来てしまった…
气まずい…

でも小鳥遊さんは
会社に入ったときに
優しくしてくれた人
だし少しくらいなら
話してもいいよね…



急に悪いね
ホントに時間
大丈夫だった？

あっはい
全然平気です！



単刀直入に言うけど
千堂さんって今も
仕事探してたりする？

ぐふっ！！



そそそんなこと
ない…ですよ？
今は違う会社で
バリバリに働いて…

あはは
千堂さんって
嘘つきの苦手
だよな



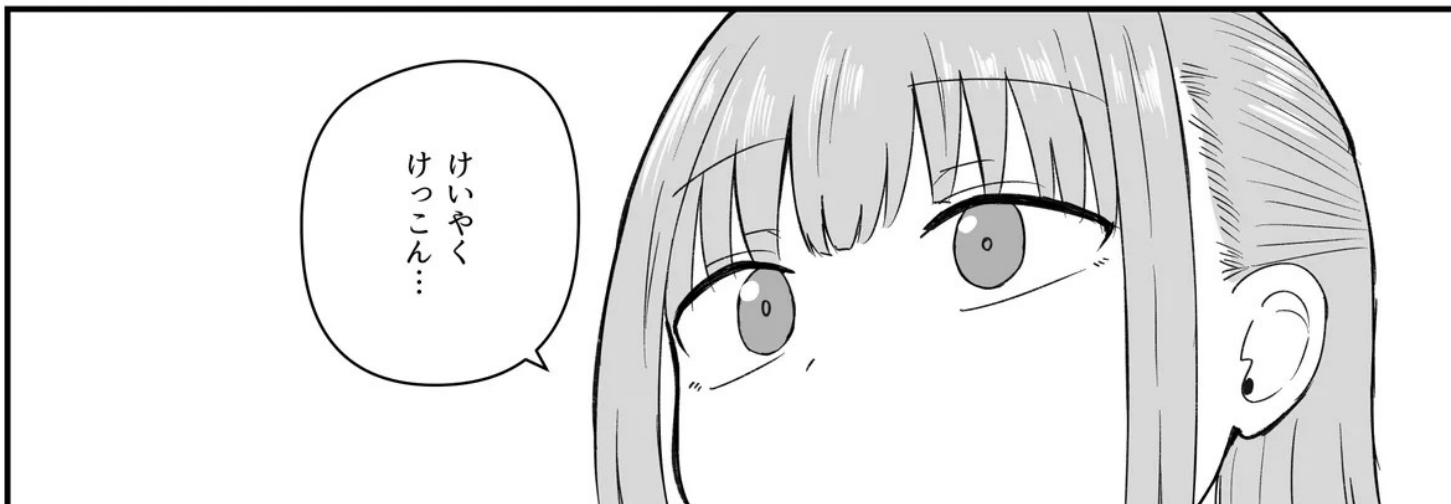
…お恥ずかしい話
なんですがあの会社
辞めてからずっと
働いてなくて

その…新しく
誰かと接するのが
怖くなってしまった
と言いますか…



みんな小鳥遊さん
みたいに優しい人
ならいいんですけどね







あーそうそう
話が早くて助かるよ

ああ！ドラマとかで
見たことありますっ
お互い利害の一致で結婚
って感じの…



衣食住が提供される
代わりに家事とか
やってもらいたいんだ

今回の話は結婚という
体裁を取った雇用…
みたいなものかな



でも今この私が
知らない男性の妻として
やっていける自信は
全然ない!!



どうかな
こういう話は
興味ない？

私の課題だった
就職も結婚も
叶うってことか

確かにそれが
出来るなら
願ったり叶ったり
な話ではあるけど…



あれ？そこ
伝わって
なかったかな

あのちなみに…
お相手って
どういう方
なんでしょうか…

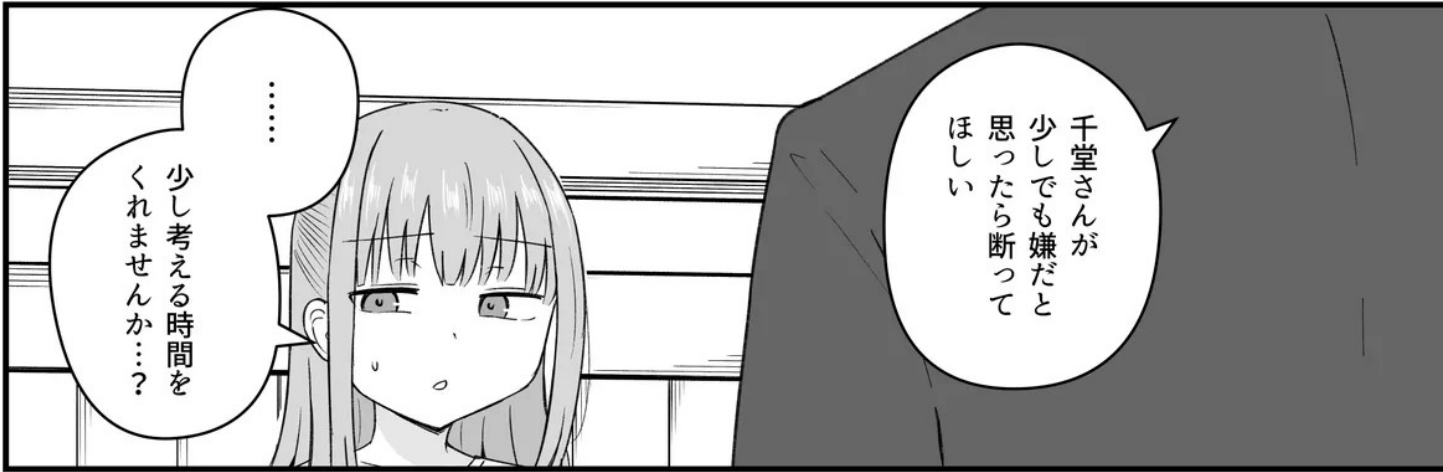


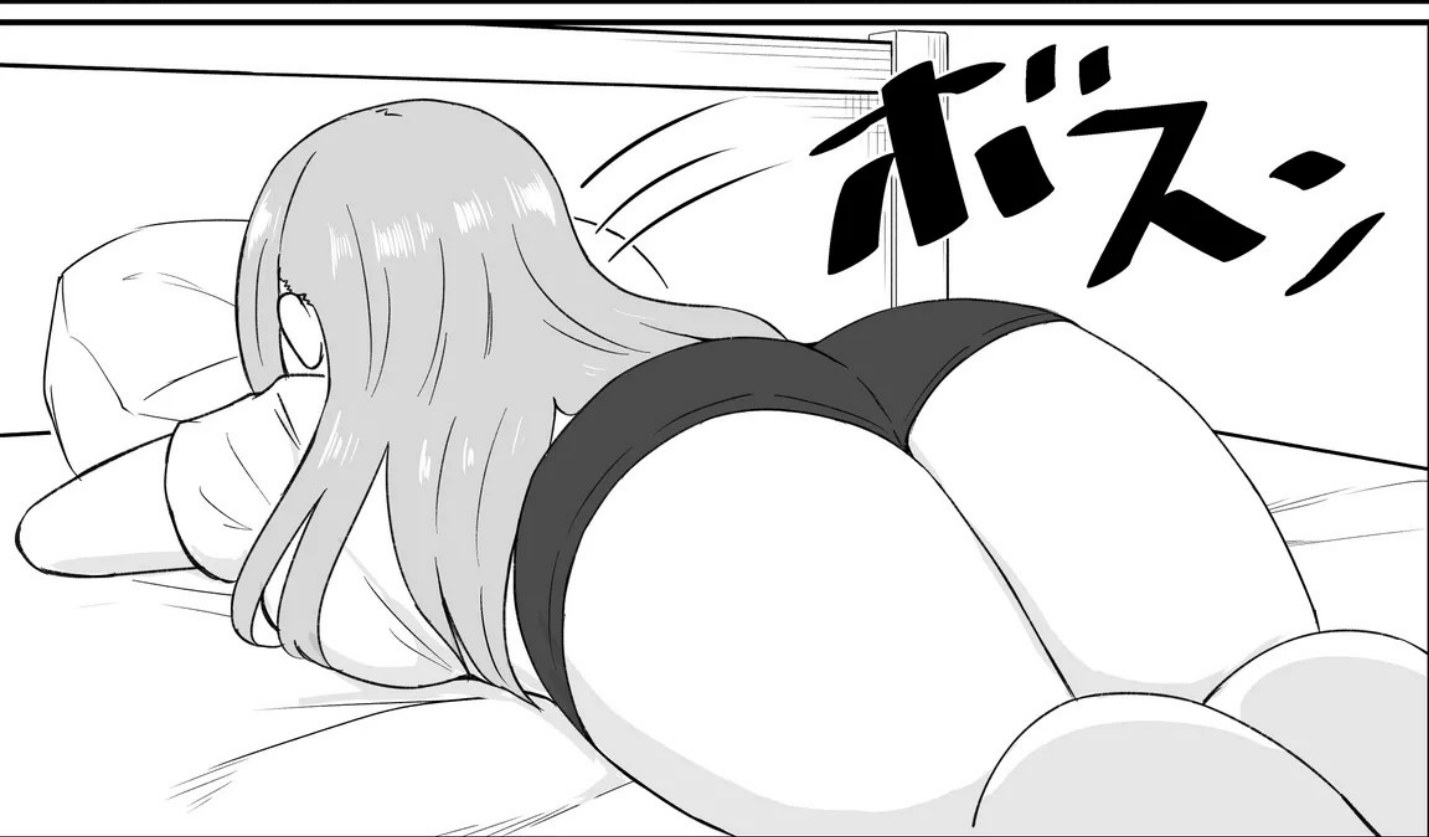
俺だよ



俺と結婚して
ほしいんだ







でも契約結婚だって
いつでも好きでもない人
と一緒にいるなんて
小鳥遊さんはいいのかな...



小鳥遊さんと結婚...
こんなに美味しい話
はないと思う...

形だけの結婚なら
私みたいな居ても
居なくても変わらない
人間が都合いいって
ことなんだろうけど...



それに私は
小鳥遊さんのこと—



なんか俺よりも
千堂さんの方が
緊張してない？

だって…！
こんなこと
緊張しますよ！



お邪魔します



い…いらっしやい

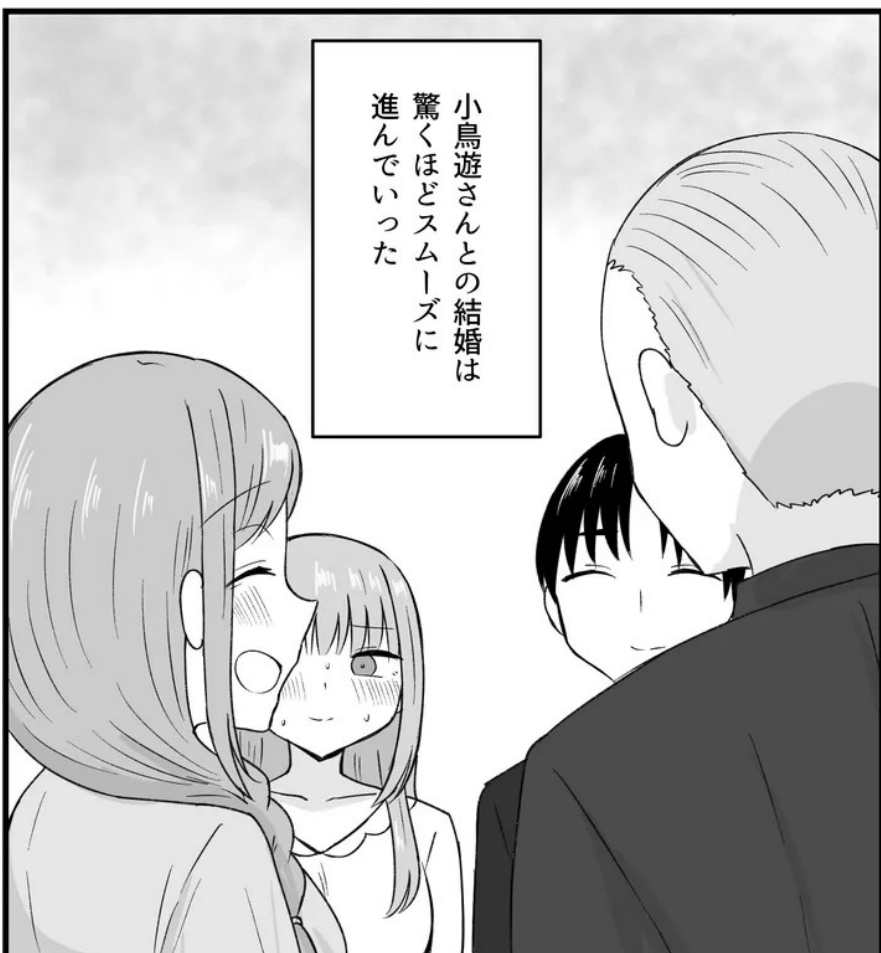


でも今日は俺が
頑張らなきゃ
いけない日だからね

娘さんを
僕にください！



うちの両親には前の職場を
辞める前から付き合っていた
ということの説明した



小鳥遊さんとの結婚は
驚くほどスムーズに
進んでいった



俺は
嘘をつくの
得意だからね



はあく嘘が
バレないか
ヒヤヒヤ
しました

はは 千堂さんは
嘘をつくの苦手
だもんね



うちの親に会うときは
あまり喋らなくても
笑ってればいいからね

ご苦労を
おかけします…



小鳥遊さんは
すごいですよ
動揺しないというか
口が上手いというか…

まあ営業してると
口が上手くないと
やっていけないし



このとき私は
初めて小鳥遊さんの
素顔を見た気がした



だから思ってしまった
この人の素顔がもっと
見たいだなんて



でもどこか
無理してるような
気がして



小鳥遊さんは
会社に居たときずっと
ニコニコしていて
優しい人だと思ってた

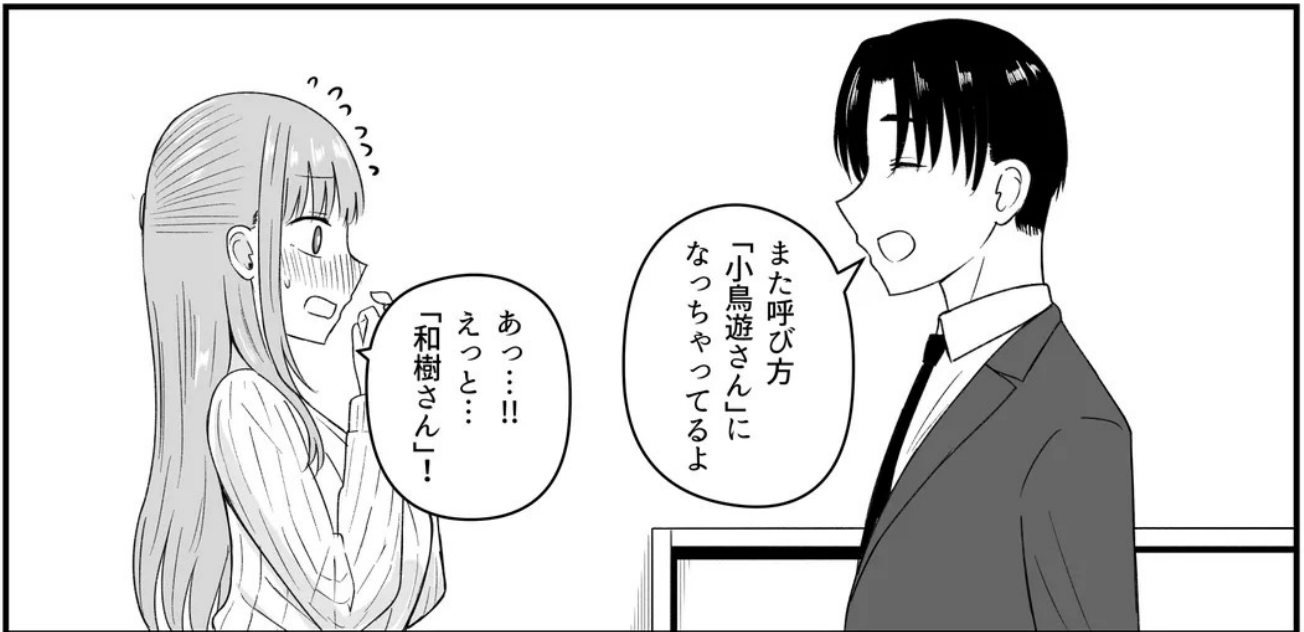


佳穂さん

あの…小鳥遊さん
夕飯はお家で
食べますか…?
私作りますけど



仕事行ってくるけど
佳穂さんは好きに
過ごしていいから



また呼び方
「小鳥遊さん」に
なっちゃってるよ

あっ…!!
えっと…
「和樹さん」!



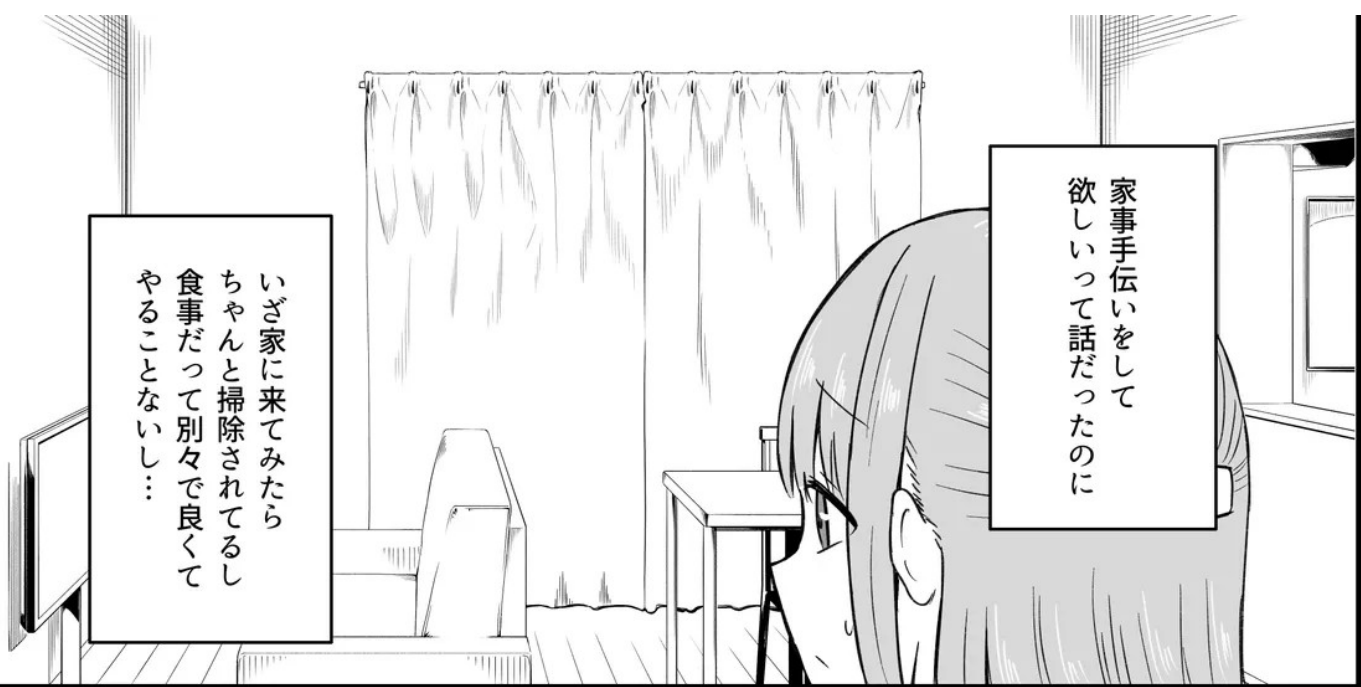
じゃあ行ってきます
ご飯は一人で好きに
食べていいからね

あ…



ははっ今日の
佳穂さんの仕事は
「呼び方に慣れる」
かな?

うっ…
はい…



家事手伝いをして
欲しいって話だったのに

いざ家に来てみたら
ちゃんと掃除されてるし
食事だって別々で良く
やることないし…



これじゃ今までと
何も変わらない



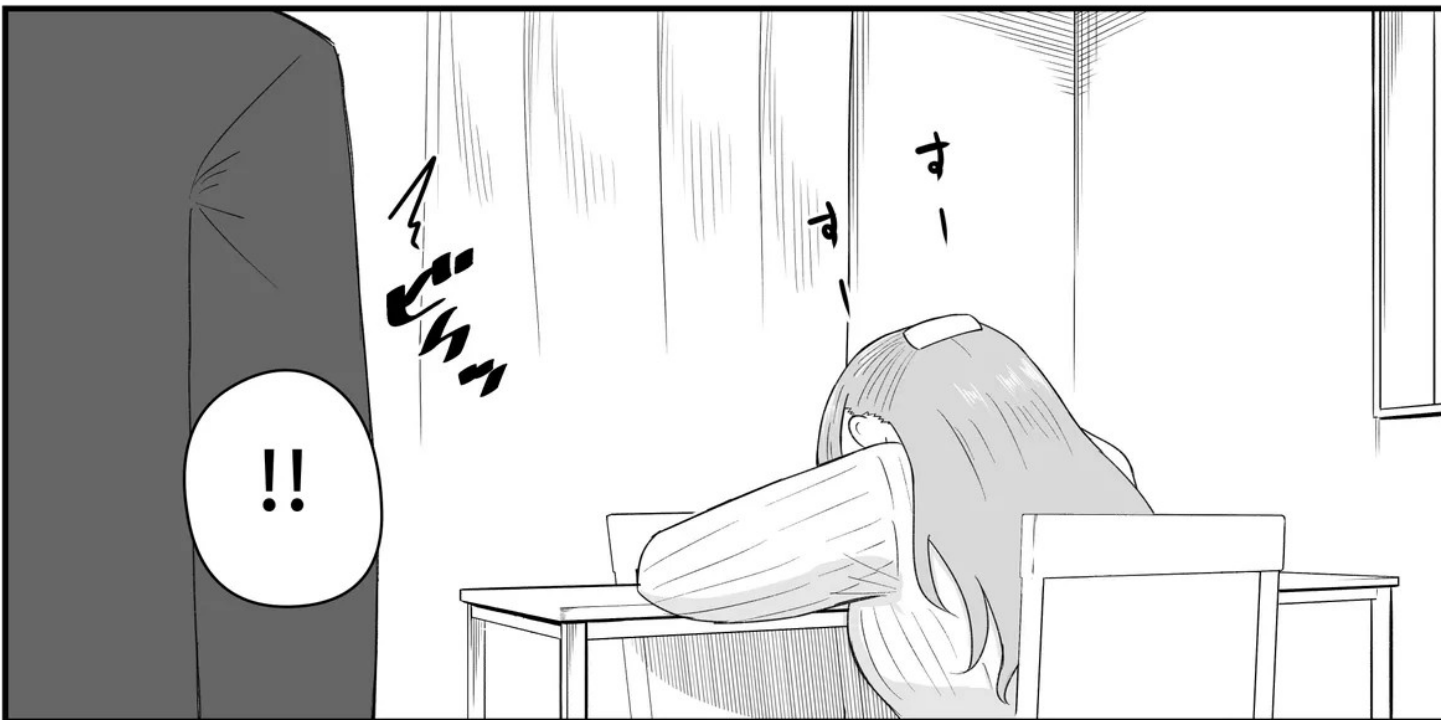
こんなじゃああの人の
素顔を見せてもらうなんて
いつまで経っても無理だよ…

よしっ…!!!



いやあ
悪化してる!!

親の脛をかじるどころか
他人に養ってもらってる!!



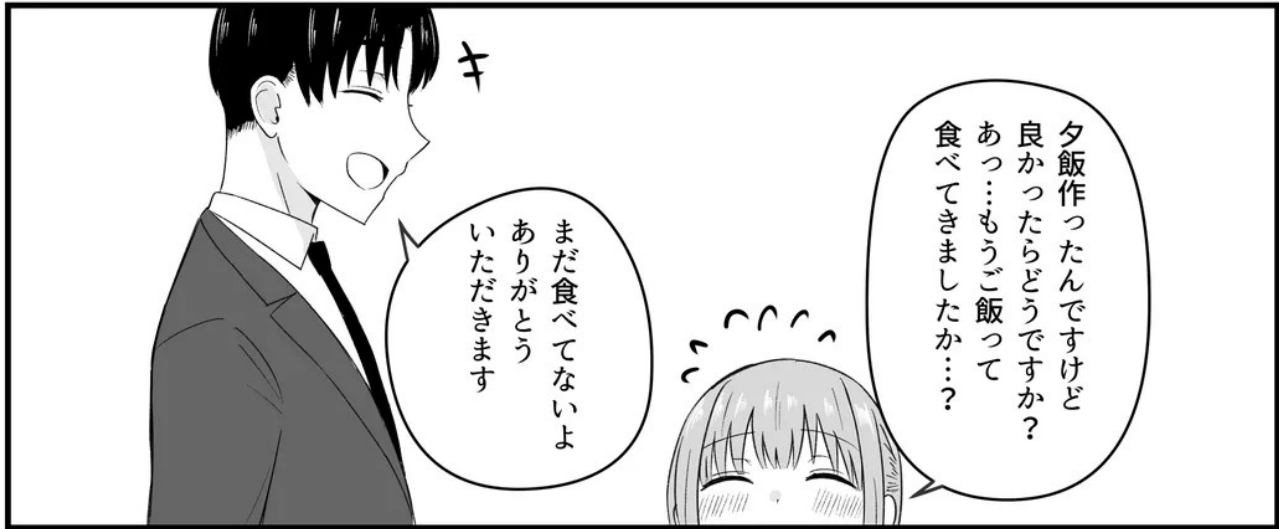


あ…いや

おかえりなさい！
ごめんなさい
こんなところで
寝てしまって…



はっ！！

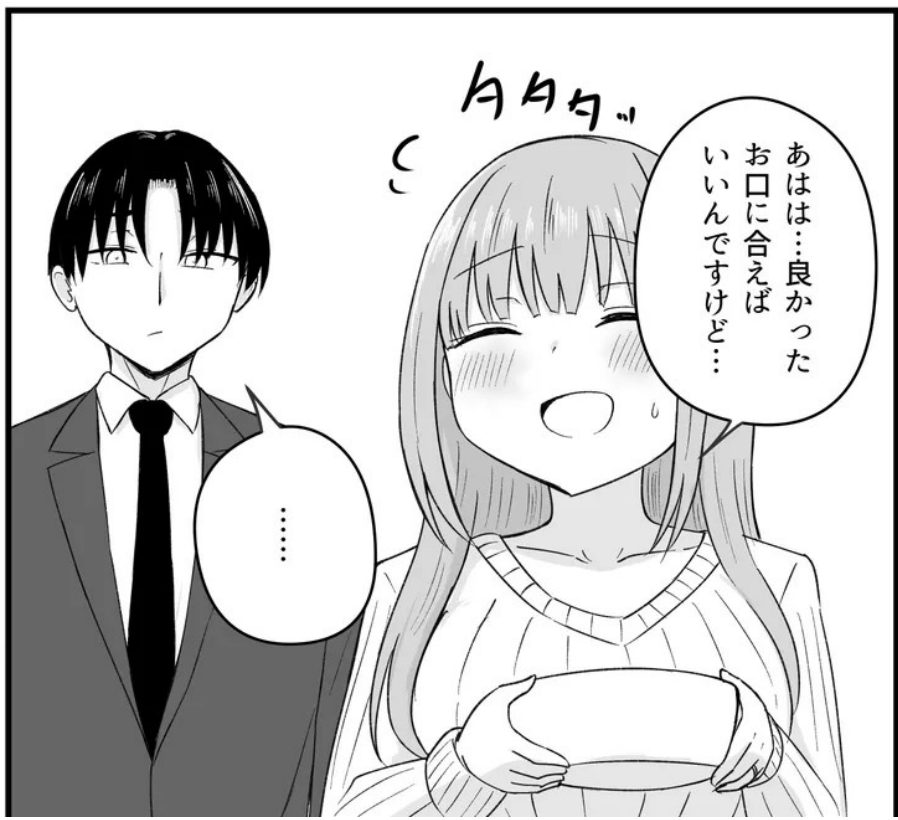


まだ食べてないよ
ありがとうございます

夕飯作ったんですけど
良かったらどうですか？
あっ…もうご飯って
食べてきましたか…？



あの…佳穂さん
無理はしないで
いいんだからね



……

あはは…良かった
お口に合えば
いいんですけど…



やっぱり余計なお世話だったでしょうか

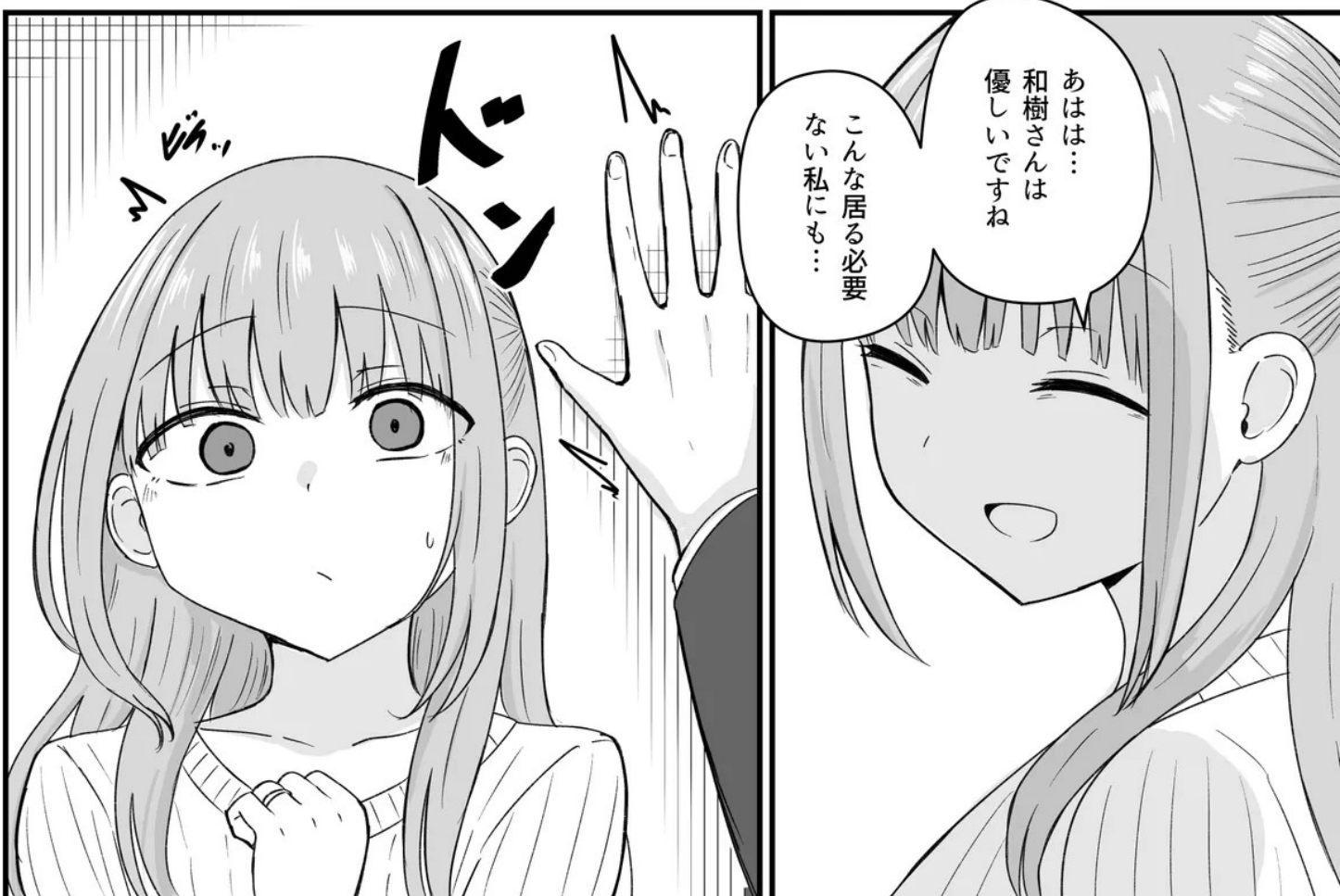
え...?



別々に食べればいいって言われたのにご飯とか勝手に作って待ってて...

これじゃ和樹さんに無理させますよね

そんなことはないよ

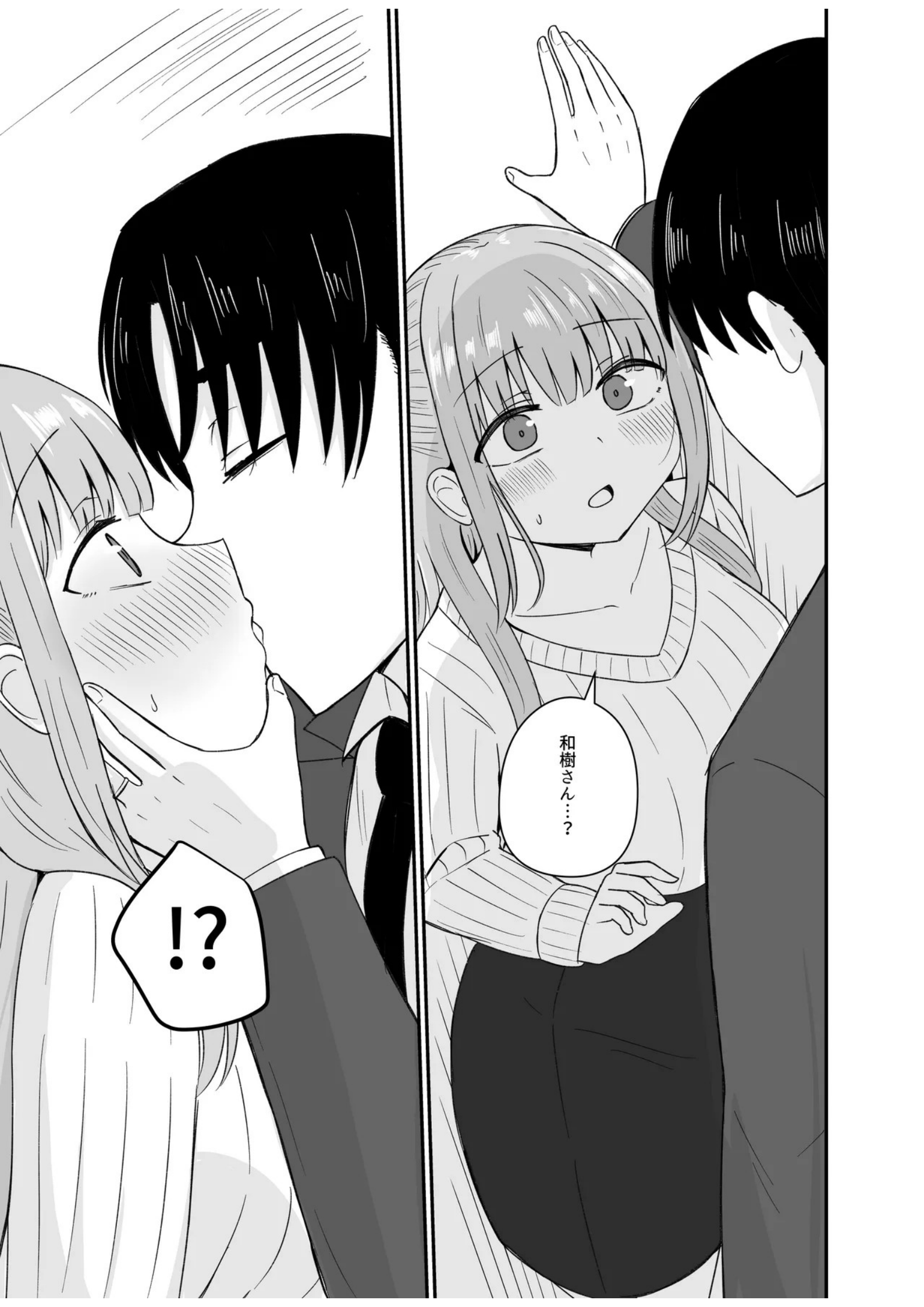


あはは...
和樹さんは優しいですね

こんな居る必要もない私にも...

ドン

びびり



!?

和樹さん...?



これでも俺が
優しいって
言える？



和樹さん…？
いきなり
どうして…？

はあ



んひ

ん…

ちや

し





佳穂さんが
悪いんだよ
俺なんか優しく
するから

あゝ

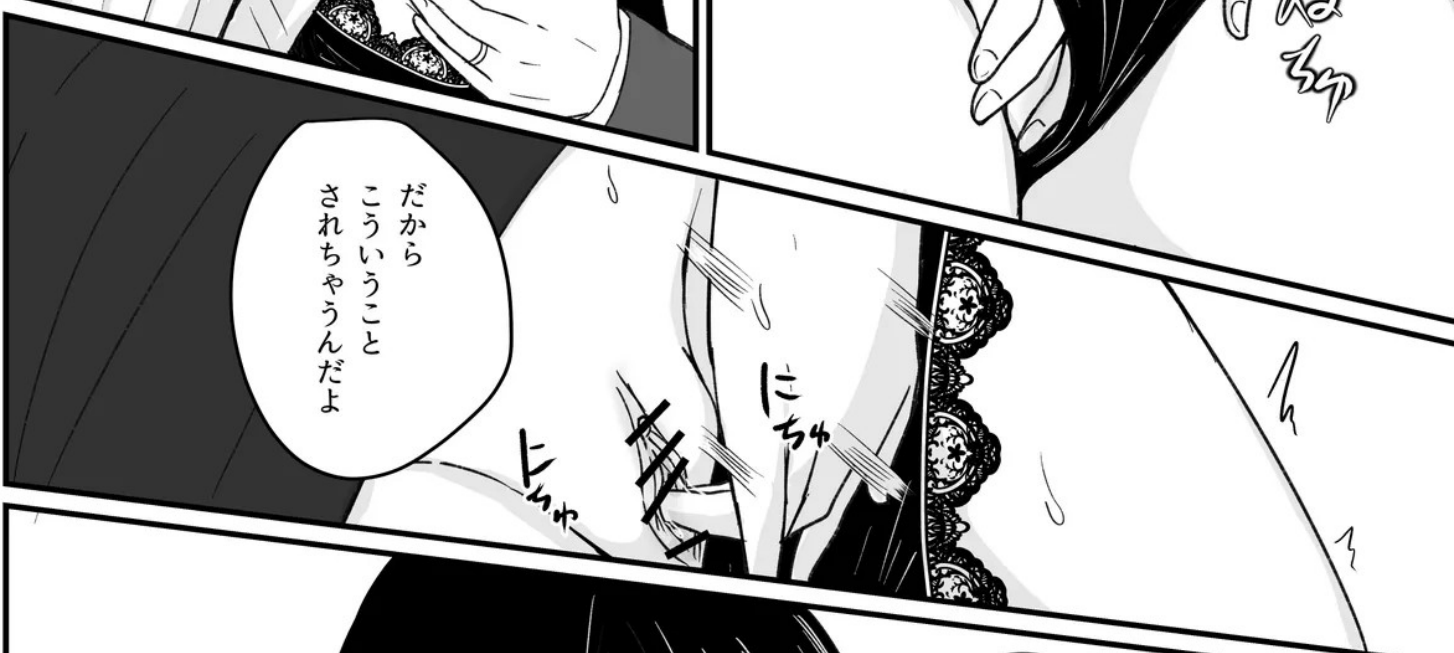
ぐんぐん

ぐんぐん



…もう濡れてる
佳穂さんって
えっちなんだね

ぬる



だから
こういうこと
されちゃうんだよ

にちや

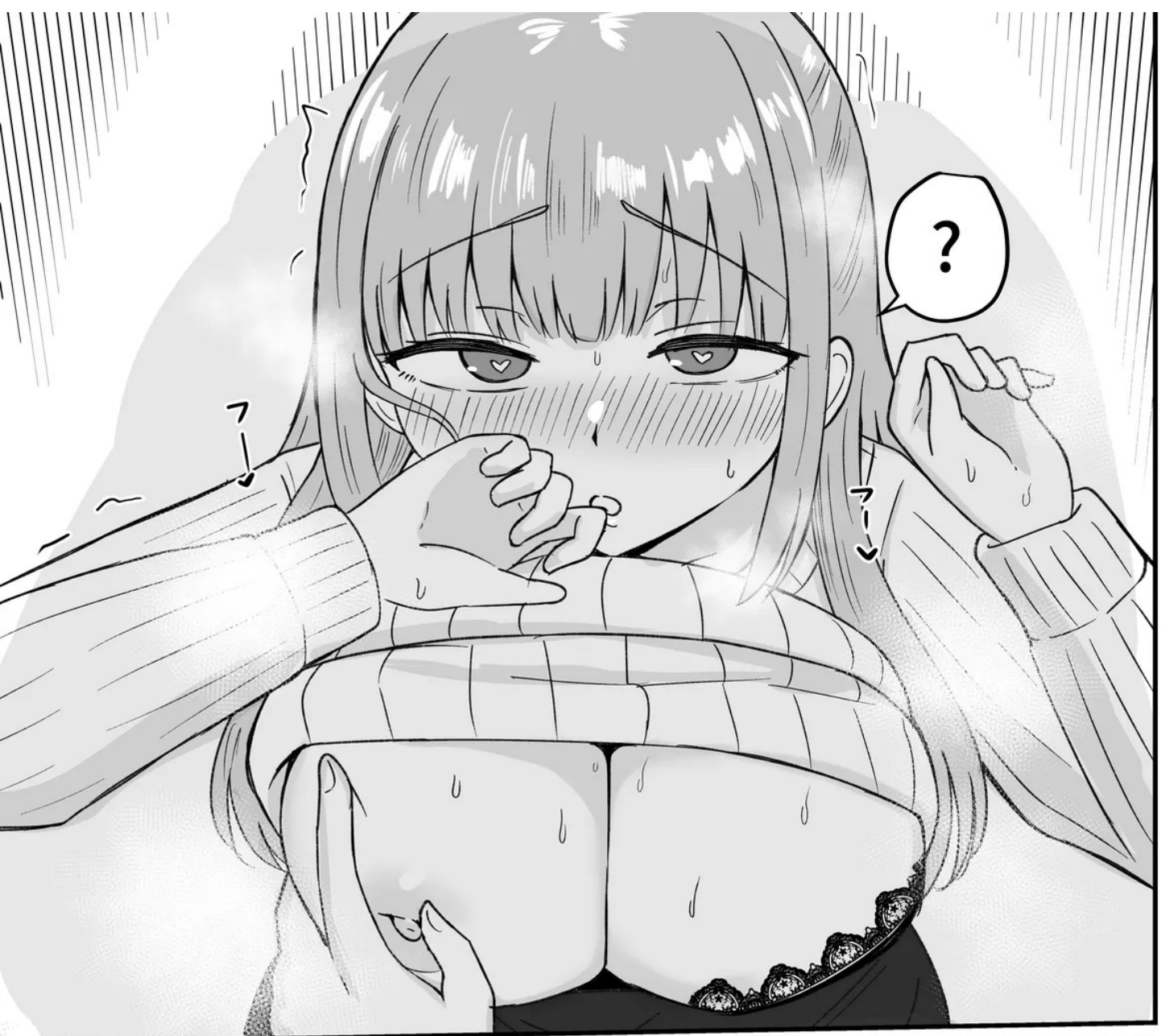
ぐんぐん



どう？
分かった？

どれだけ自分が
人を惑わしてるか

どろどろ





どう幻滅した？
もうこんな男と
一緒に居たく
ないだろ？

だから…

はあ

はあ



ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ



そんなこと
ないです…

ぐわ

ぐわ



身体だけでも
和樹さんの役に
立てるなら…
一緒にいたいです…

だから…
捨てないで…



えっと…
あの…

じゃあお望み通り
役に立って
もらおうかな…



ほんつと佳穂さんはさ…
そういうところがホント
佳穂さんなんだよな…

え…あの
私また何か
ダメなこと…

はあ



佳穂さんの全部
俺に捧げてもらおうね



…全部丸見えだね

や…ああ…
恥ずかしい
です…



和樹さんっ!?!
そんなとこに顔
近づけちゃ
ダメですよ…っ

でもする前に
もつとトロトロに
しておかないと



だからって
そんな…っ
□でなんて…

ビクッ

んっ
あっ



んっ
あっ



一応聞くけど
佳穂さんって
初めてじゃ…

……



もうだいぶ
いいかな



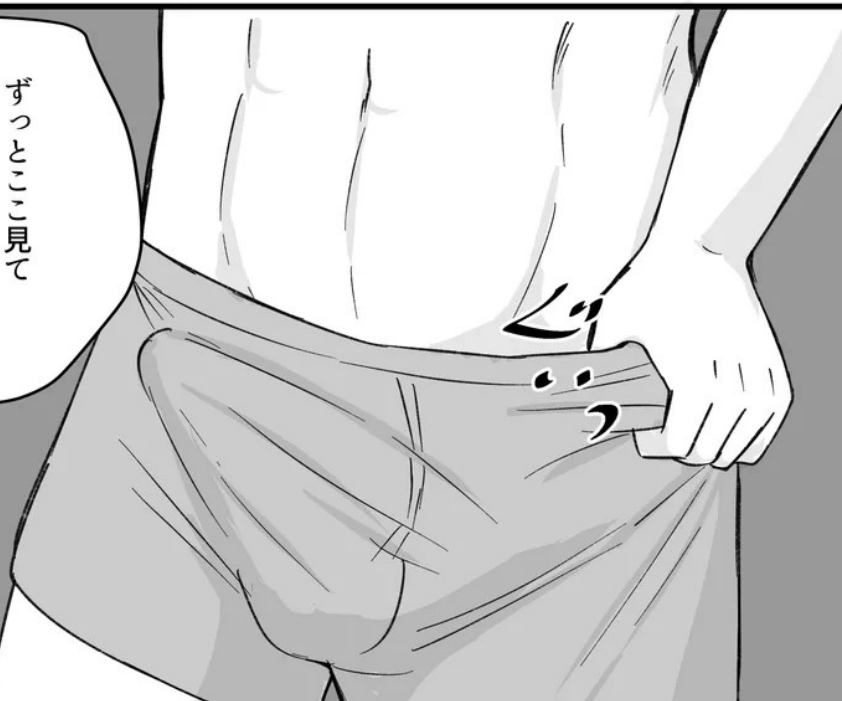
あー…もう
気になって
仕方ないんだ

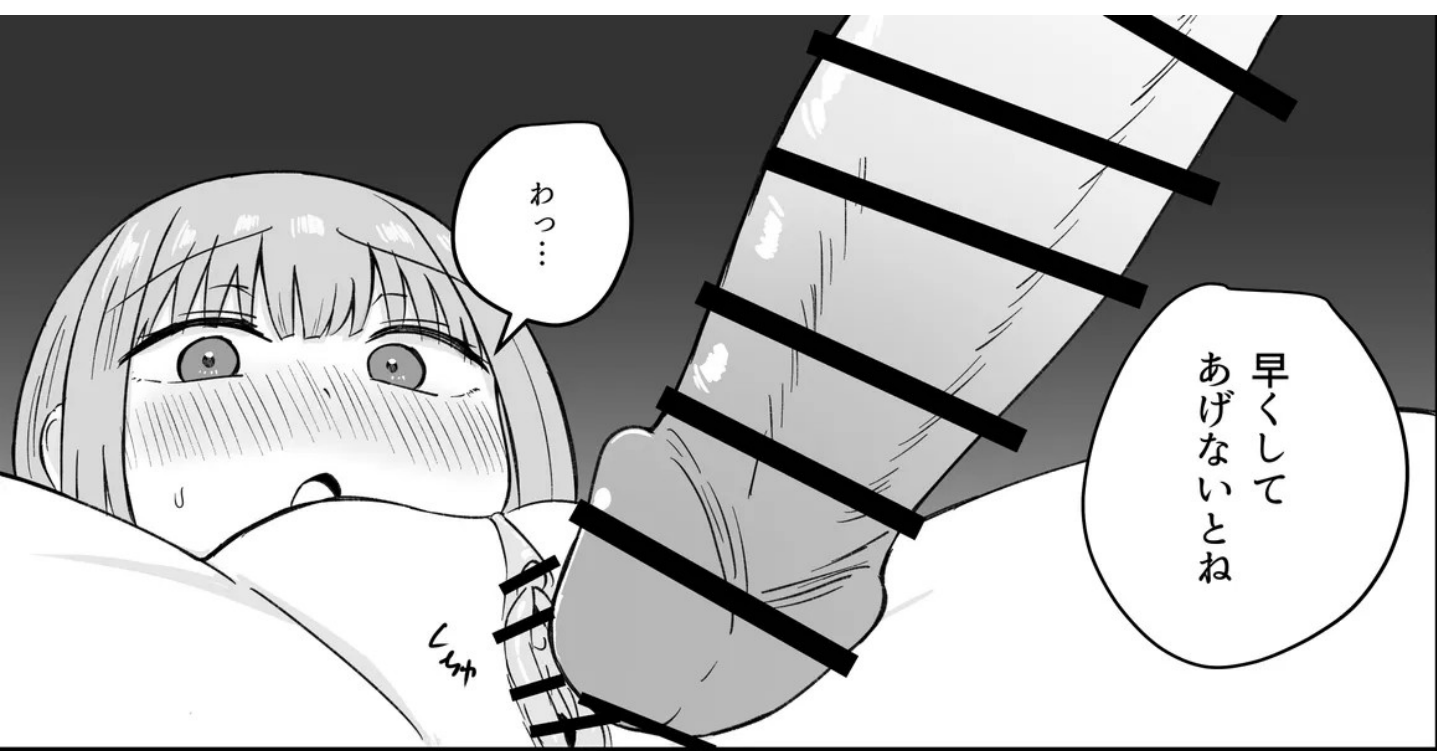
ん…っ!!

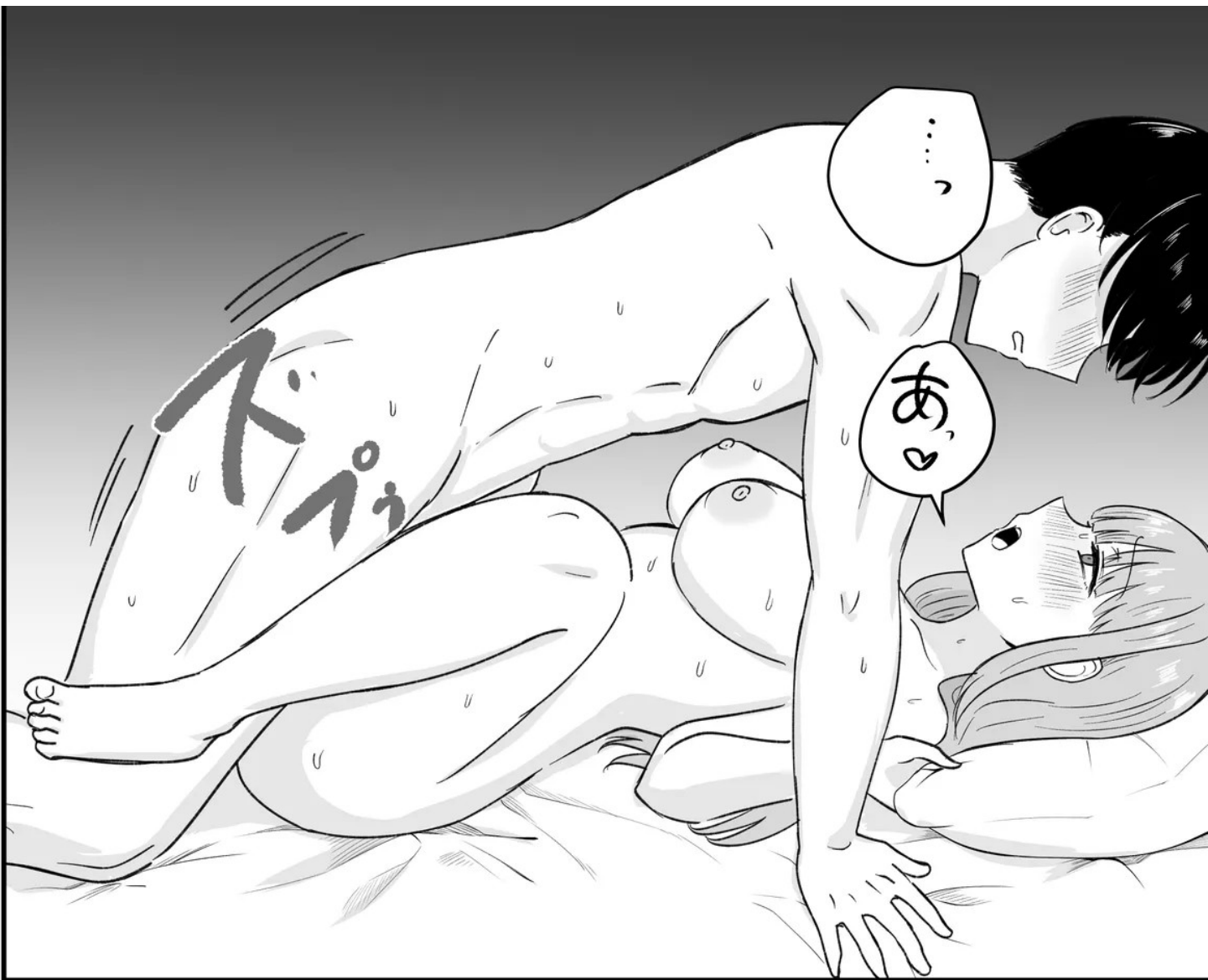


ずっとここ見て
ばっかで話も
聞いてないんだから

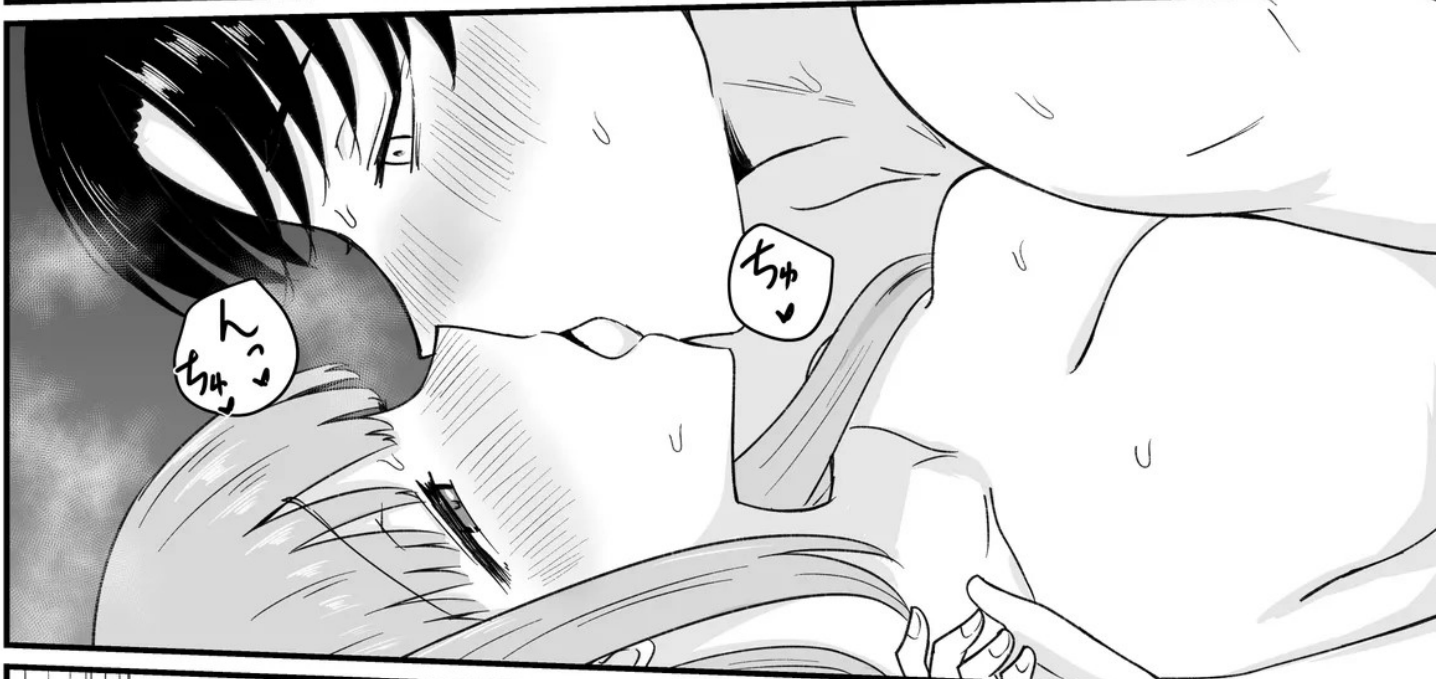
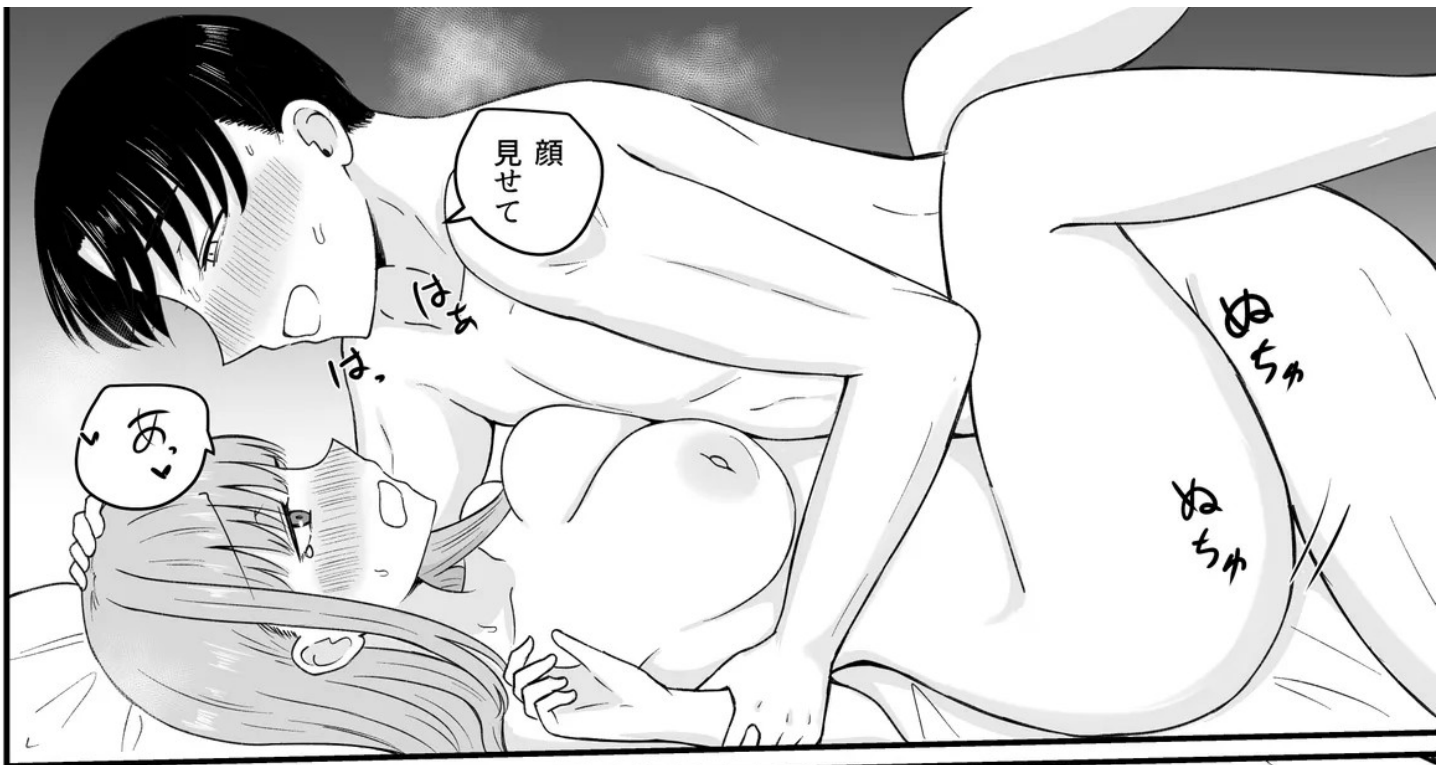
!!





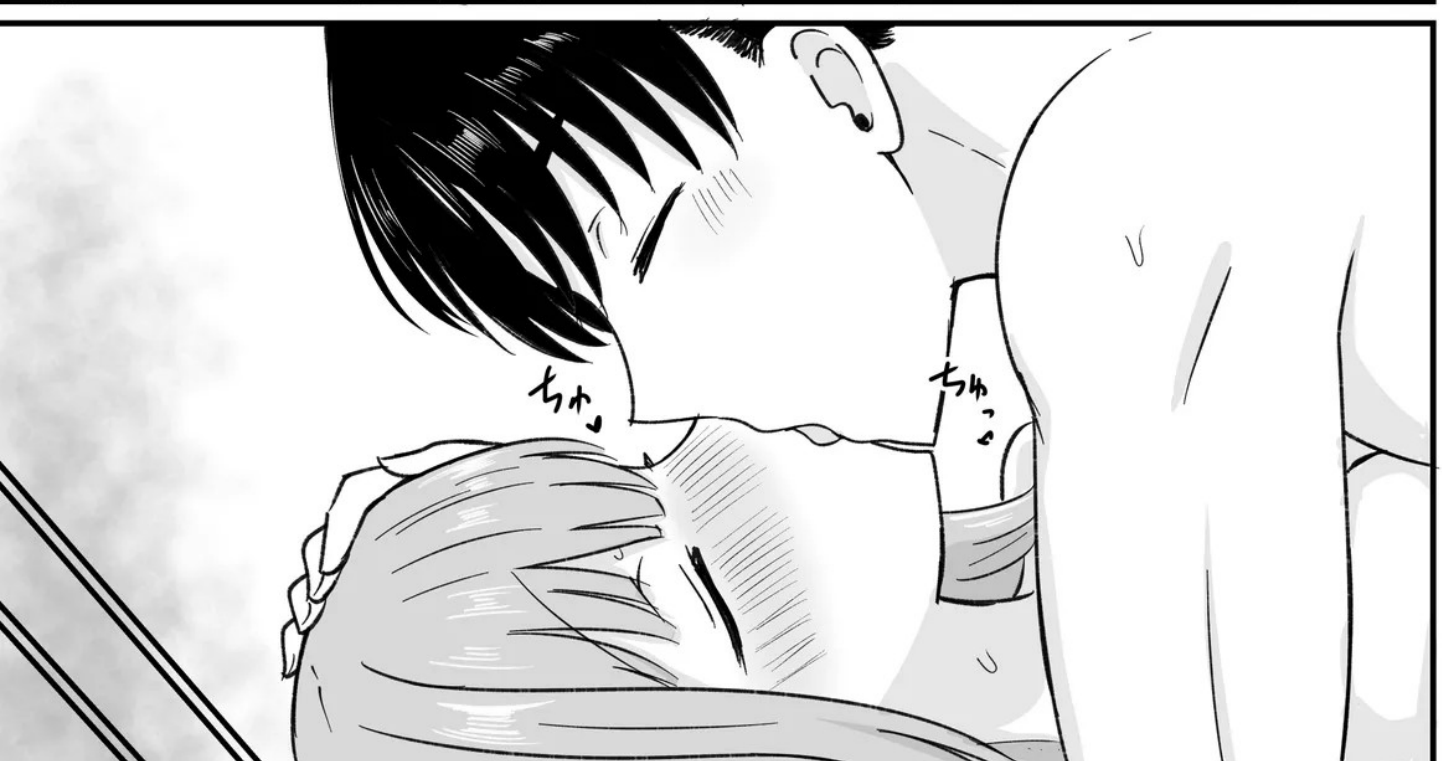
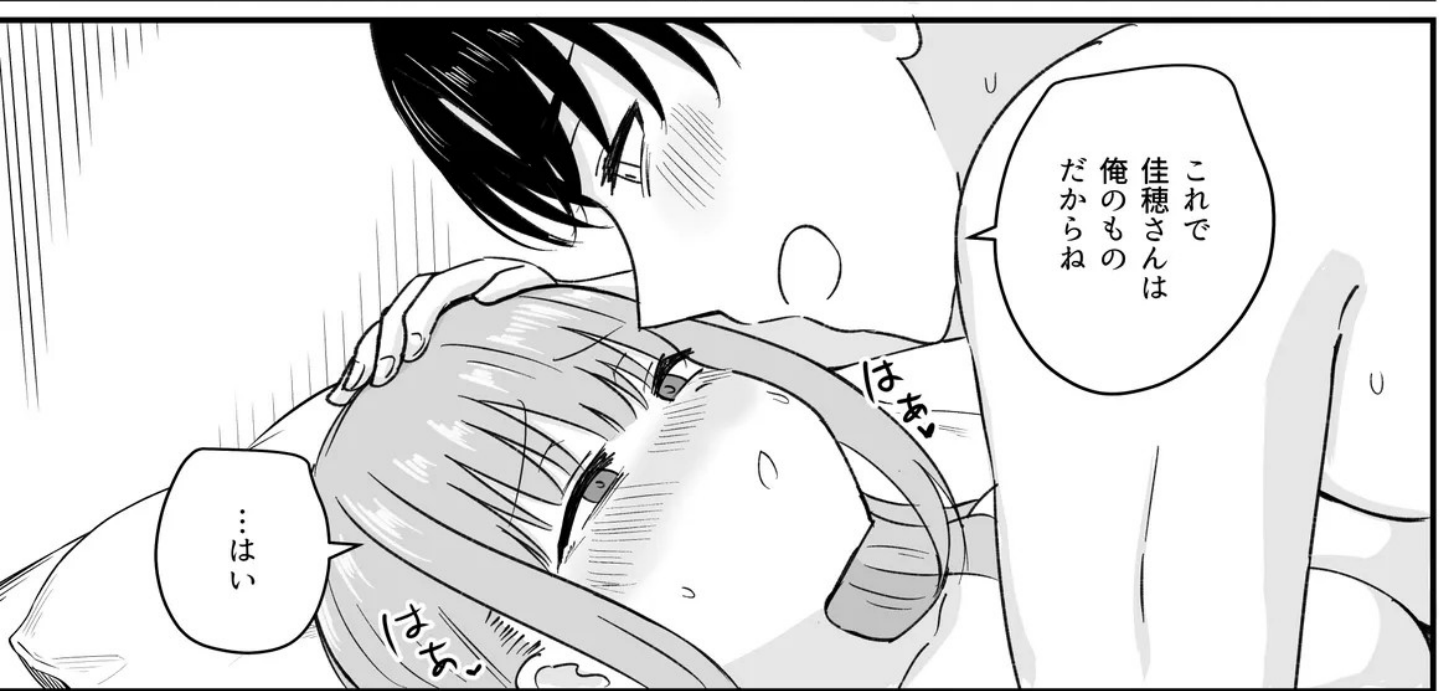

















俺は今まで
素の自分を隠して
誰にでも平等に
接してきた


それで周りからの
信頼と評価を得て
そこそこの人生を
歩めていた




あの日新入社員で
入ってきた彼女と
出会うまでは



他の人と同じように
適度に優しくすれば
いいと思ってたのに



彼女の優しさに
自分の感情が
抑えきれなくな
っていった



このままでは
いけない
俺の人生は平穩で
なくてはいけない…



彼女の仕事への熱を
利用して本社に薦めて
自分から遠ざけることに
決めた



彼女が居なくなつて
しばらくが経ち
いつも通りに戻れる
と思つたのに

これで良かったと
自分に言い聞かせている
だけにしか思えなかつた



小鳥遊さん
千堂さんの話
聞きました？

千堂さん？
何かあったの？

体壊して
会社辞めちゃつた
そうですよ

なんか本社で
上司に色々されて
病んじやつたとか…



俺は自分が
とんでもない間違いを
したと後悔した

だからもし彼女に
もう一度会えたら
俺は人生を賭けて
尽くすと決めていたんだ



この人がどうして
私なんかを気に入って
くれるのか分からない…

分からないけど…



……

和樹さん…
寝ちゃった？



和樹さんの
素顔はすこし
可愛くて
私はそれが好き…

それだけで
いいんだ…



「ダメな私は完璧なあの人に溺れていく」

発行日 2024年12月30日

発行元 恋紙屋

恋紙屋